

東海第二発電所の運転再開について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、電気出力 1 1 0 万キロワット）は、定常運転中のところ、3 月 3 1 日 1 9 時 4 2 分、落雷によると思われる外部電源喪失により原子炉が自動停止しました。現在、詳細について調査中であります。

なお、本現象による環境への影響はありません。

また、非常時炉心冷却系（E C C S）作動はありません。

（3 月 3 1 日発表済み）

調査の結果、東海第二発電所と那珂変電所間の送電線に落雷があり、保護継電器が作動したことにより原子炉が自動停止したものと判明しました。

その後、発電設備の点検を実施し、異常の無いことが確認できましたので、4 月 2 日 0 時に、原子炉を起動し、運転を再開することといたします。

なお、原子炉が自動停止した際、制御棒 1 本（全数 1 8 5 本）が完全に挿入されていない状態であることが確認されましたが、原子炉は安全に停止しました。その後、当該制御棒は、運転手順書により手動操作で完全に挿入しました。原子炉停止後の当該制御棒の点検において、スクラム排出弁が閉状態であることが判明したため、当該弁を開状態とし制御棒駆動機構の動作試験を行い、正常に動作することを確認しております。また、念のため、残り全ての制御棒についてスクラム排出弁が開状態であることを確認しております。

外部電源喪失： 送電線又は開閉所母線の故障等により、発電所が送受電する電源が喪失する事象

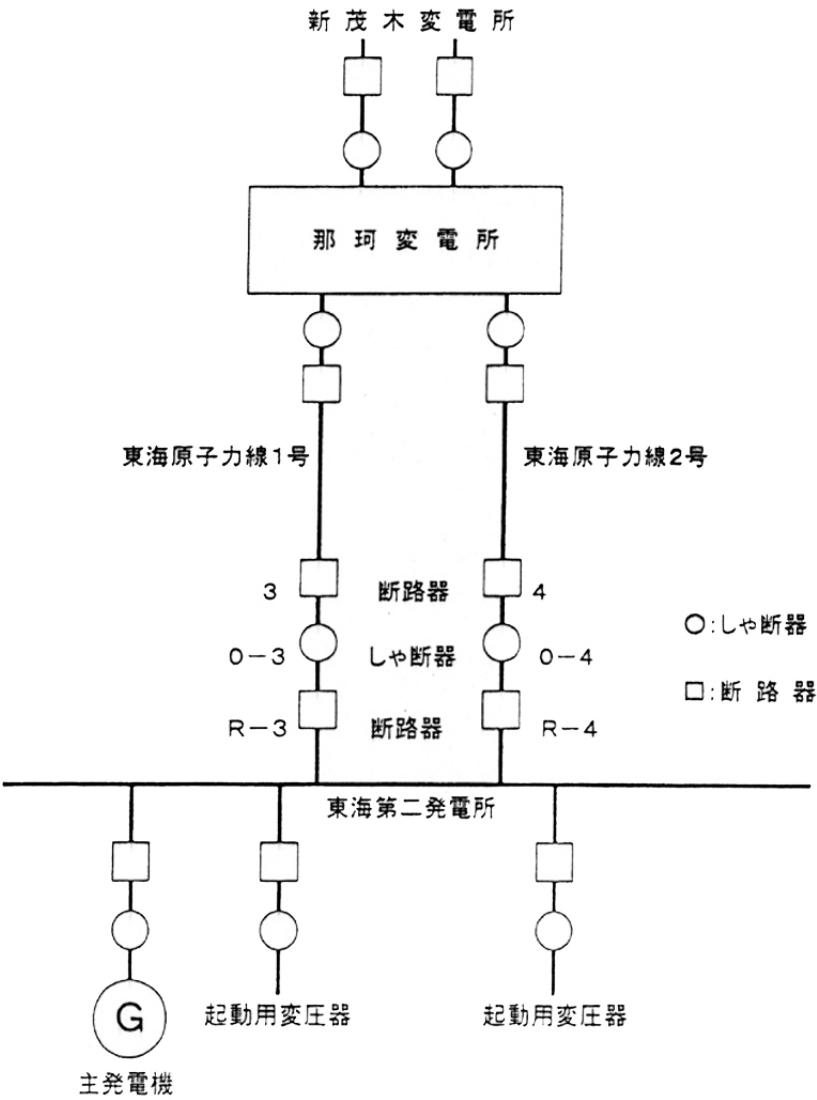
保護継電器： 電氣的故障を敏速に判別し、回路を遮断する等して機器の損害を抑制する継電器

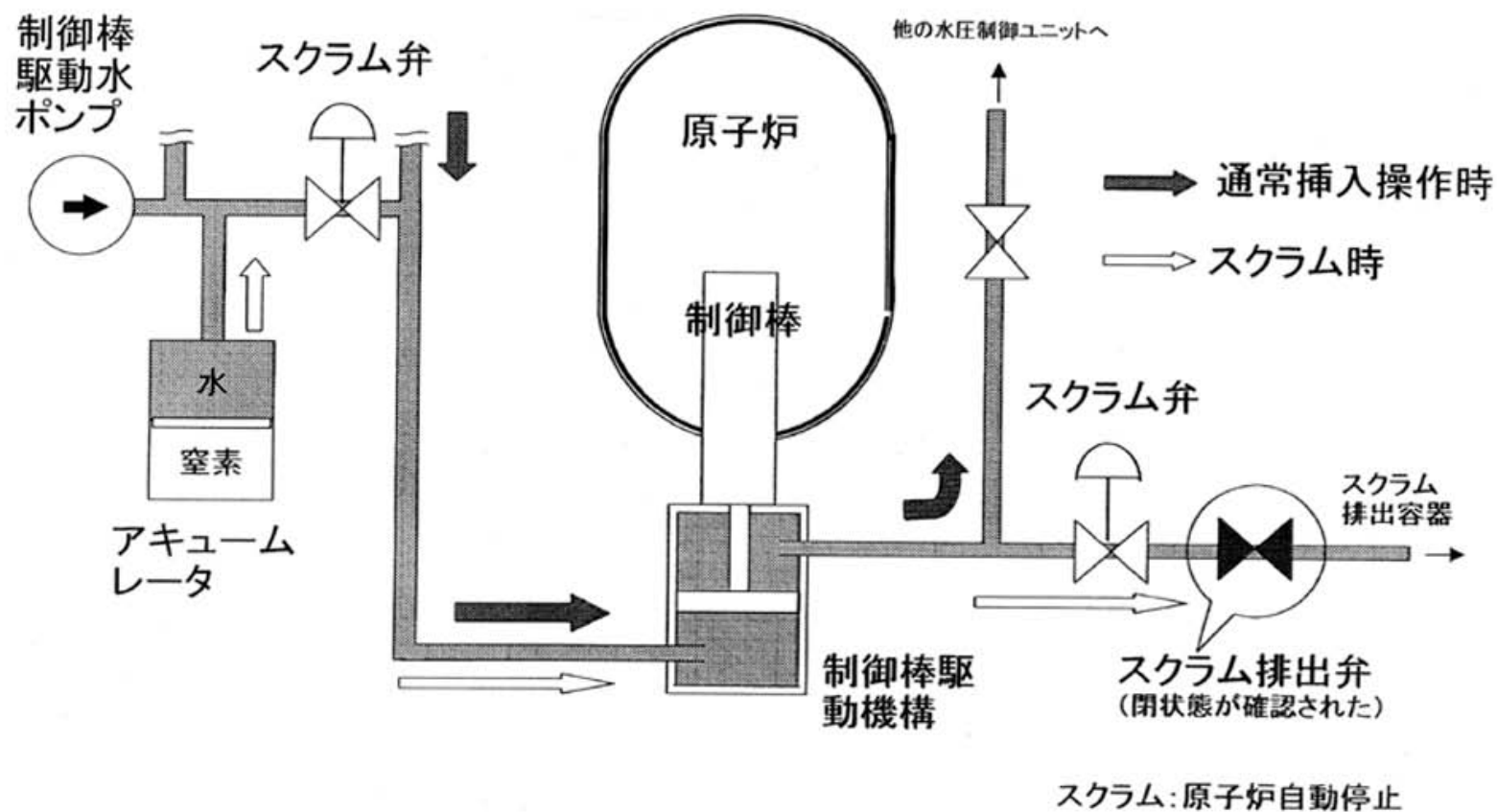
以 上

添付資料 1 電力系統概要図

添付資料 2 制御棒駆動機構水圧系統図（スクラム時及び通常挿入操作時）

電力系統概要図





制御棒駆動機構水圧系統図(スクラム時及び通常挿入操作時)